

添付資料：2007年4月19日発表 System z新機構ならびに機能拡張一覧

No.	機能・機構名	概要	z9 BCのみ
1. 新機構			
1-1	新しいハードウェア管理操作卓 HMC( 機構番号：0084/0085 )	HMC アプリケーション専用操作卓	
1-2	TKE 5.1 コード( 機構番号：0856 )	TKEワークステーション(機構番号0839/0859)に導入するライセンス内部コード (LIC)	
1-3	Crypto Express2-1P 暗号化機構 ( 機構番号：0870 )	PCI暗号化機構 (PCIICC) とPCI暗号化アクセラレーター (PCICA) を1つの機構で提供	Y
1-4	FICON Express4-2C SX チャネル・アダプター機構 ( 機構番号：3318 )	1枚に2ポート搭載されたFICON Express4チャネル・アダプター	Y
1-5	固定ボルト機構	System z用の上げ底環境、非上げ底環境用の固定ボルト機構	
2. 機能追加			
2-1	LPARグループ・キャパシティ制限	LPARのCPU利用率の合計がキャパシティを超えないようにグループを管理	
2-2	ON/OFF CAPACITY ON DEMAND (OoCoD) の機能拡張	100個の OoCoD LICCC をSupport Element に保存	
2-3	z9 BC CAPACITY BACKUP UPGRADE (CBU) の機能拡張	z9 BC R07からCBUで一時的に z9 BC S07へキャパシティを増強に関する制限の解除	Y
2-4	10進浮動小数点(DFP：DECIMAL FLOATING POINT)演算のハードウェア機構	ハードウェアでの10進浮動小数点処理に関する機構を搭載	
2-5	ドライバー保守の向上	機械を停止させずに新しいLICレベルへ活性化可能	
2-6	FCP ( FIBRE CHANNEL PROTOCOL ) の機能拡張		
	-FCPのパフォーマンスの向上	OSに依存しないFCPのパフォーマンス向上を実現	
	-FCPのパフォーマンス・メトリック	FCPチャネルの解析を補助しIO機器の情報を活用	
2-7	ネットワーク機構の機能拡張		
	-OSA-EXPRESS ネットワーク・トラフィック・アナライザー	トレースレコードの自動収集とフォーマットの編集・加工が可能に	
	-QDIO診断同期機構	ハードウェアとソフトウェアのトレースを同時にキャプチャー可能	
	-レイヤー3仮想MAC	ユニークな"logical" 又は"virtual" MAC (VMAC)アドレス利用が可能	
	-動的LANアイドル機能	inboundのブロッキングアルゴリズムを最適化	
	-z/VMリンク・アグリゲーション機能	スループット向上で停止せずフェイルオーバー可能に	
2-8	SYSTEM-INITIATED CHPID 再構成機能	CHPIDの再構成で保守交換作業の時間を削減	
2-9	マルチパスIPL機能	IPLを実施した時の問題判別を自動化	
2-10	パラレル・シスプレックスの機能拡張	CFCC LEVEL 15がEC/BCで利用可能に	
2-11	HMCユーザー認証のLDAPサポート	集中管理されたユーザーIDパスワード制御機能を提供	
2-12	ネットワークベースのRSF接続	お客様提供のHTTPSプロキシシステムへオプション対応	
2-13	HMC の機能拡張	ハードウェアを遠隔管理	
2-14	SUPPORT ELEMENT の機能拡張	システムの資源やタスクを階層的に表示	
2-15	消費電力監視機能	System z9 上のシステムの消費電力と温度を監視	
2-16	消費電力見積もりツール	特定のSystem z9構成の予想消費電力の見積りが可能	
2-17	z/VM 統合システム管理機能	HMCによるz/VM情報の管理	

本一覧掲載の各機能拡張の詳細ならびに前提条件は、IBM製品発表レターをご覧ください。

**IBM System z9 Enterprise Class および Business Class 機能拡張の発表 (2007年4月19日)**

<http://www-06.ibm.com/jp/domino02/NewAIS/aisextr.nsf/ByLetterNo/LSA07002?OpenDocument&ExpandSection=1>

**IBM製品・発表レター検索トップページ**

<http://www-06.ibm.com/jp/domino02/NewAIS/aisextr.nsf/aissearch>